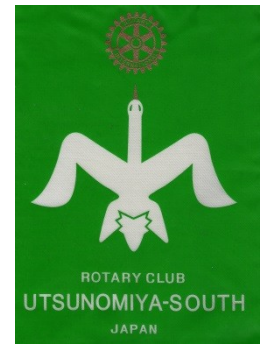


2013-2014 年度 第 1600 回例会 宇都宮南ロータリークラブ会報

会長：小塚照夫 幹事：中野智之 会報委員長：佐々木隆
 例会場及び例会日：ホテルニューイタヤ 《水曜 12：30》
 事務所：宇都宮市大通り 2-4-6 ホテルニューイタヤ内
 TEL:028-635-5511 (ホテルニューイタヤ)



10月 第1例会

2014年10月1日(水)



会員数 47名 出席 34名



司会

黒崎文博 S.A.A

● 国歌斉唱「君が代」

● ロータリーソング「奉仕の理想」



会長挨拶

小塚照夫 会長

皆さんこんにちは。

山岳信仰の山と言われている木曾の御嶽山が噴火し、大量の火山灰が頂上付近にいた人々に襲い掛かりまして、惨過ぎる山の仕打ちを受けました。自然の大きさと恐ろしさをまざまざと見せつけられたような気が致します。

先日の地区大会には、多くの会員の皆様にご参加戴きまして、ありがとうございます。当日はインターアクト設立の功績が称えられまして、RI 会長賞を戴きました。これも皆様のご協力の賜物と感謝しております。また、本日は米山月間の卓話と致しまして、米山記念奨学会地区委員長の恩田光憲様をお招きしております。恩田様、よろしくお願い致します。



幹事報告

中野智之 幹事

§ 10月のロータリーレート 1ドル=106円

§ 地区大会に参加できなかった会員の方のレターボックスに資料を配付致しました。

§ ガバナー事務所より、広島災害義捐金の報告が届いております。



地区大会表彰

§ RI 会員増強推進活動表彰 純増3名以上のクラブ：純増4名

§ 100%財団の友クラブ

§ 毎年あなたも100ドルクラブ

§ ガバナー賞：宇都宮南インターアクトクラブ設立

§ 地区功労賞：村上芳弘 第3グループBガバナー補佐

§ 米山功労クラブ：29回

§ 長寿会員：菊池功会員(80歳)





新入会員紹介者表彰

1名紹介(ブルーピン) 村上芳弘会員



10月のお祝い事

- § 入会記念 田村一夫会員・黒崎文博会員
- § 会員誕生 金田秀壽会員・村田宏明会員・田口久雄会員
- § 婦人誕生 藤井康夫会員・村上芳弘会員・小保方信聴会員
佐々木隆会員・山本敬三会員・枝野修一会員
- § 結婚記念 安齊誠一会員・菅野孝祠会員・磯田賢会員
- § 創立記念 村田宏明会員 北関東ニチュ(株) ・ 荻原英美会員 (有)荻原会計事務所
田中正夫会員 材木町会計事務所 ・ 藤島 拓会員 (株)日本環境整備



スマイルBOX 委員会報告 青木克浩 委員長

- § 藤井康夫副会長 日に日に寒くなっています。皆様、お体に気を付けて下さい。
- § 中野智之幹事 今日も元気にスマイルします。
- § 村上芳弘会員 ①恩田先生、卓話よろしくお願い致します。そしてお世話様です。
②10月13日(月)宇都宮さつきロータリークラブチャーターナイト、出席よろしく
お願い致します。18名の出席が確認されています。市内9クラブの中で最多
の出席者人数です。
- § 田村一夫会員 恩田地区委員長には、お忙しい中、本日の卓話ありがとうございます。(米山奨
学委員長として)
- § 仲田俊夫会員 恩田様、卓話楽しみにしております。
- § 平澤照隆会員 本日の卓話、米山地区委員の恩田さん。大変ご苦労様です。よろしくお願い致
します。
- § 藤島 拓会員 9月21日(日)の地区大会お疲れ様でした。 野球部に仲田パスト会長、小林さ
さん、中野さんをはじめ、多くの方にいろいろ寄付して戴き、誠にありがとうござ
います。
- § 田中正夫会員 税務調査立会中の為、本日の理事会は欠席させていただきます。
- § 坂井俊司会員 長らくご迷惑をお掛けしていましたが、今月から復帰しますので、よろしくお
願い致します。
- § 磯貝 太会員 先日、ロータリークラブ地区ゴルフ大会に初めて参加しました。中野さん、嶋
田さん、角田さん、ご迷惑をお掛けしました。
- § 磯田 賢会員 今朝、献血をして来ました。昨年、薬を飲んでいて出来なかったのですが、今
年、リベンジできて嬉しかったのでスマイルします。

- § 物井栄三郎会員 今月 4 日からねんりんピック栃木大会が開催されます。我社もブースを出す予定です。
- § 若月章男会員 妻の誕生日に菅野さんに綺麗な花を届けて戴きました。お蔭様で今のところ夫婦円満です。ありがとうございました。
- § 青木克浩委員長 先日土曜日に、オリオン通りで第 34 回技能展が開催され、参加して来ましたが、石工技能士会では、勾む作りのコーナーを設け 80 名の参加を戴きました。来年も開催予定がありますので、是非ともお孫さんを連れてご参加下さい。

多くの会員の皆様にご協力戴きありがとうございました	今週の金額	15,000 円
亙理ロータリークラブワンコイン支援	今週の金額	971 円
甲子園支援金	今週の金額	2,850 円



米山月間卓話

第 2550 地区 米山記念奨学委員長

恩田 光憲 様(宇都宮西 RC)



米山月間にお招きいただき有難うございます。地区米山委員長で、宇都宮西RCの恩田です。

先日の野球大会では南クラブさんは優勝おめでとうございます。

先日は、米光啓弥様の訃報に接しました。米山の大先輩で、多くのことをご指導いただきました。心よりご冥福をお祈り申し上げたいと思います。

今日は米山について、卓話を依頼され参りました。短時間で、なるべく多くのことをご案内したいので、PPと原稿を使わせていただきます。9月に新しくできた、マメ辞典を中心に、少し他の資料を交えます。

米山の事業の使命である、「将来、日本と世界を結ぶ懸け橋になって国際社会で活躍し、ロータリー運動のよき理解者となる人材を育成する」ということを会員の皆様に、是非ご理解いただき、今後もご協力をいただきたいということが今日の目的と思います。時間が限られていますので、米山の目的位で終了してしまうかと思えます。よろしく願いいたします。

長嶋ガバナーの地区方針と目標

「若者を育てましょう」ということで、米山についても大きく取り上げておられます。ガバナーが掲げる当地区の今年度の目標額は、1人当たり 18,000 円です。

地区で奨学生を何人採用できるかは、寄付額の全国比が左右されます。割り当ての方法は省略しますが、当地区は会員数、留学生が少ない割に個人平均寄付額が多いので、割り当て数も多くなっています。今年も、来年も、20名枠をいただいています。来年は継続が6名いるので、アジア学院を除き新規が13名ですが、受験者が約30名いますので、選考は狭き門になります。

米山記念奨学事業の特徴

日本で学ぶ優秀な外国人留学生に奨学金を支給し、支援しています。

2004年RI理事会で、日本のロータリーの多地区合同奉仕活動と確認され、米山は、日本のロータリー独自の事業で、全地区による合同プロジェクトです。

最大の特長は「世話クラブ・カウンセラー制度」です。

奨学生は世話クラブの例会に参加し、奉仕活動を共にすることで、より深く日本を知り、ロータリーが求める平和の心を学びます。

日本最大の民間国際奨学事業

ロータリーのプログラムの中では、“よねやま”は、日本のロータリアンにとって非常に特別な存在です。

米山事業は、世界に類のない、国際ロータリーが認める「多地区合同奉仕活動」であり、米山が発行する印刷物などには、日本国内の全地区による合同プロジェクトである旨を付記したロータリーマークを使用しています。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 定款

皆様ご覧になったことがないと思いますので、定款をご覧ください。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、勉学又は研究のため来日し、わが国の大学等教育機関に在籍する外国人に対して奨学金を支給し、よってロータリーの理想とする国際理解と親善と平和に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

(1)奨学金の支給

(2)その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 前項の事業については、日本全国において行うものとする。

この定款に基づき、我々は事業活動をしています。

定款によると、米山の目的は、来日した優秀な外国人留学生を支援することにより、日本の全ロータリアンが、ロータリーの精神をもって、政治ではできない国際親善、友好関係を打ち立てようとするものであることがお分かりになっていただけたと思います。

米山記念奨学会のあゆみ

1952年東京RCで米山基金として構想が立てられる

5年後には日本の全クラブの共同事業に発展

1967年、財団法人となる。

2012年1月に公益財団法人の認可をうける

2004年RI理事会で、日本のロータリーの多地区合同奉仕活動と確認される

なぜ留学生を支援するのか

ところで、日本のロータリーは、なぜ、外国人留学生を支援しつづけているのかと疑問に思われている方が多いかと思いますが。先ほどの定款に示されているような目的が根底にあるからですが、そういうご意見に、

これからお話することなどから、少しでもご理解が得られたら幸いです。

日本で初めての青少年交換が行われたのは1962年、オーストラリアとの交換で、これを実現させたのは、第二次世界大戦で、日本との戦いで両目を失ったオーストラリア人でした。戦後ロータリアンになった彼は、平和の大切さを訴え、かつての敵国・日本との友好親善を回復することこそが急務であると考えてのことであったようです。一人の日本人少女が迎えられました。

米山の歴史は、さらに10年さかのぼります。

日本のロータリーの父、米山梅吉翁が亡くなったあと、その功績を永遠に偲ぶことができる事業をやろうではないかと、1952年、東京RCが「米山基金」の構想を発表しました。中心となったのは、当時の会長、「大連宣言」で有名な古沢文作氏でした。上都賀郡本陣（現西方町金崎）出身、生家あり。

なぜ、外国人留学生への奨学金という事業が選ばれたのか、の理由の一つに、「二度と戦争の悲劇を繰り返さないために“平和日本”を肌で感じてもらいたい」、「世界の人々と友情を育むことができるのだと証明したい」——こうした、当時の日本のロータリアンたちの強い思いがあったからだそうです。

東京 RC が始めた「米山基金」は、わずか 5 年で、日本の全ロータリークラブの共同事業となり、1967 年には財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立されました。

古沢氏の「米山記念奨学金設定の趣旨」の最後の一文です。

「これ実に翁の生前意図されたロータリー事業の一つであり、われらまでもって翁の遺徳をたたうる無形の金字塔となさんとするものであります」古沢氏が、米山奨学事業に情熱を傾け、取り組んだのだ、ということが読み取れます。第1号奨学生はタイのソムチャードさんという方ですが、古沢氏は最初に迎えたその奨学生を見届けることなく、1955年に亡くなりました。

それから60年余の歳月が流れましたが、”平和の種子を蒔く民間外交”という使命が一貫して変わっていません。むしろ、今日の世界情勢と日本の置かれている状況を考えると、その使命はますます重要性を増していると思われまます。

米山の一番の特徴は、“世話クラブ・カウンセラー制度”によって、毎月、例会に参加し、ロータリアンと交流することにあります。米山奨学生は、たくさんの国の中からあえて日本を留学先に選んで、専門知識を学びに来た、優秀な人達です。将来の世界を支える彼らに、日本人の“心”、ロータリーが求める平和への願いを理解してもらい、大きなチャンスとなっています。領土問題などがあって、皆様からも、そのような国々の人を支援するのはおかしいという意見を良く伺います。政治や国が関与しない、人と人との交流の積み重ねこそが、絆を少しずつ強くするのではないのでしょうか。それに将来の平和を期待したいと思います。

米山奨学生は年間約700人、これまでの累計で、世界123の国と地域から18,104人を支援しています。これは、外国人留学生を対象とする民間奨学金としては最大規模で、今後、海外からより多くの留学生を呼び寄せようとする日本の留学生政策にも大きく貢献しています。

奨学生の国・地域別の割合はグラフのとおりです。左側の2014学年度だけで見ますと、中国が40.7%、つづいて韓国が15.7%、ベトナムが9.7%となっています。

累計では中国が32.7%、韓国が23.2%、台湾が18.7%となっています。

「中国の学生が多すぎる」という声を時々いただきます。

現在、日本にいる留学生全体の60.4%が中国人^{※1}なので、まず、絶対数が多いことをご理解ください。また、大学から推薦された候補者を実際に面接しますと、やはり中国人には優秀な方が多いです。しかし、国籍バランスを考えて推薦してもらうよう各大学にお願いをし、選考の際は、優秀性を重視しつつも1カ国に偏らないようにするなど地区でもできるかぎり努力しており、ご覧のように、今年度は全国では40.7%と大きく減りました。今、皆さんの周りには中国人奨学生は、本当に高い競争率のなかで採用された優秀な人たちです。

地区でも、指定校には一つの国に偏らないように推薦してもらうことを条件としている。採用の際は一つの国は50%を超えないように選考している。

どんな成果が出ているか 学友会について

奨学事業の成果は、元奨学生たちの活躍を見ていただくとお分かりになっていただけます。

元奨学生(米山学友)は、世界で、さまざまな活躍をしています。

中国の姫軍(キグン)さんは、多くの日本企業を顧客にもつ弁護士です。昨年日中関係が悪化した際は、中国にいる日本企業や駐在員の安全のため、24時間ホットラインを設けて無料相談を行ったそうです。また、2007年から毎年50万円の中国からの送金限度額の寄付金を米山奨学会へ送り続けており、中国学友会を正式に発足させた初代会長でもあります。第36回のメジャードナーとなっていますので、すでに米山の寄付を360万円していることとなります。2010年9月18日、名古屋のあるRCが中国学友会を訪ねて、彼と一緒に養護施設の子供たちを訪問しました。この日は満州事変が起きた日で、中国全体で、日本への反感が最も高まる日です。今年は大きな事件はなかったようですが、去年は日本大使館に投石があり大きな問題になったことをご記憶のことと思います。しかし、その日、中国学友会も、養護施設の子どもも、職員も、ロータリーの一行を快く迎えてくれたそうです。

モンゴルの、ジャンチブさんは、皆様ご存じの方も多いと思います。一昨年の鈴木年度に、ホームカミング制度を利用し、当地区にも来訪されました。私も寿司屋で一緒に食事しました。ジャンチブさんは、モンゴルで初めての3年制高校、新モンゴル高校を作った人です。制服や部活動などを取り入れた日本式高校で、現在は小中学校も併設しています。高校の設立には、世話クラブの山形北RCをはじめ、多くの方々が支援をしました。そして今、たくさんの卒業生が日本に留学し、それぞれの夢にむかって勉強をしています。ロータリアンが支援した1人の留学生の夢が、何十倍、何百倍にも広がって、次の世代の夢へとつながっています。この事業の真髄を感じます。今年(2014年)9月、新モンゴル学園では、「新モンゴル工業大学」と「新モンゴル工業高等専門学校」を新たに開校しました。ちなみに、高専の校長先生も、元米山奨学生です(右写真の左端、シルネンさん:2010-11/千葉大学大学院/成田RC)。今年3月にはモンゴルで学友会が設立され、ジャンチブさんが初代会長となりました。ジャンチブさんは現在、ロータリーの会員です。(RI第3450地区フレールRC)

エジプト出身のマーヒルさんは、1989年から91年の古い奨学生ですが、最近、世話クラブへなんと23年ぶりに近況報告のメールがあったとのことで、世話クラブでは大変感激していたそうです。マーヒルさんはアラブ人として初めての日本語博士で、現在もカイロ大学日本語学科教授として教鞭をとるかたわら、VIPの通訳などでも活躍しています。米山奨学生時代は広島大学大学院に在籍しており、日本の原爆体験をアラブ世

界にも伝えたいと、被爆体験記やはだしのゲンを翻訳して、出版しています。

奨学期間が終わったあともロータリーとの接点を持ち、学友同士の友情を深めるのが学友会です。学友会は、元奨学生と現役奨学生によって組織されるもので、日本国内に31、海外には台湾・韓国・中国・タイ・ネパール・モンゴルと、6つの学友会があります。

タイの米山学友会では養護施設へ日用品を贈り、少額ながら、タイの大学生へ奨学金の支給もしています。

第2790地区(千葉)ではロータリーデーの大会で、一般の人を含む参加者へ、日本のロータリーが留学生を支援しているとPRしました。

第2780地区(神奈川県 横浜・川崎以外)では毎年、湘南海岸の清掃活動をしています。

関西学友会(第2660地区)では、海外や他地区の学友に呼び掛けて大規模な総会を開いており、今年は、米山梅吉氏の生涯を描く朗読劇に挑戦しました。

台湾学友会では、恩返しの一つとして、台湾へ留学する日本人への奨学金を出しています。今年も2人の大学生が採用されました。米山と同様にカウンセラー制度もあり、毎月、奨学金を手渡ししています。

2013年10月19日に、ネパールで海外5番目の米山学友会が誕生しました。

2014年3月にはモンゴルに海外6番目の学友会が誕生しました。

昨年度、事業創設60周年を記念し、米山親善大使を募集し、初代よねやま親善大使に台湾と中国の方が選ばれました。親善大使は、ロータリーや一般社会に向けて、米山奨学事業のPRをしています。

右: 台湾の 尤 銘煌(ユウ ミン ホアン)さん 山形大学基礎教育院准教授 第2800地区(山形県)米山学友会会長

左: 中国の 楊 小平(ヤン シャオ ピン)さん 広島大学大学院国際協力研究科客員研究委員

栃木県学友会に会長は宇都宮大学工学研究科准教授の鄒 艶華さん(中国/2002-2004/西那須野RC)足利市国際交流協会学友が記念講演をしました。磁気を利用した超精密加工技術開発・研究。宇大学長 新村武男先生(宇都宮陽北RC会員)の愛弟子です。

ロータリアンになった学友も多くいます。

米山学友が中心になって設立したロータリークラブはここに書かれている5つです。

(※さいたま大空RCは米山学友だけでなく、財団学友も中心となって設立)

他のクラブを含め、これまでに178人がロータリアンになっています。この人数は米山奨学会事務局が把握できている分ですので、実際にはもっと多いと思われます。

すばらしい活躍をしている学友、学友会をここでは紹介しきれませんが、奨学会事務局から随時ニュースが発信されています。米山奨学会では公式フェイスブックページや、毎月「ハイライトよねやま」というニュースが発行されておりますのでご覧ください。米山奨学会のHPにも掲載されています。

皆さんの米山に対する日頃のご支援に心から感謝申し上げ、つづいて、財政状況・当地区の寄付実績についてご報告します。

「普通寄附」と「特別寄附」の2種類がある

普通寄附は義務ではないが、公益法人を維持していくための安定財源としての意味がある

全ロータリアンからの定期寄附で、各クラブで決定した金額×会員数分を半期に一度送金

特別寄附は個人・法人・クラブからの普通寄附以外の任意寄付。金額に決まりはない

ロータリアン以外の方からも受ける。クラブを通すとクラブの累計に加算される

特別寄附には表彰制度がある

みなさんが米山に寄付したお金は、全額、奨学事業に使われています。左の円グラフは収入です。昨年度の寄付金は13億3,746万円(濃オレンジと薄いオレンジ)と、前年に比べ約1,200万円増加し、過去5年間で最高額となりました。利子を合わせると、収入は全部で14億1,937万円でした。一方、右の円グラフは支出を表しています。奨学金、地区や世話クラブへの補助費、学友会補助費など、事業費としての支出は全部で12億4,350万円、昨年度に比べて1億円以上減少しました。これは主に、2013学年度から奨学生採用枠を大きく減らしたことによるものです。来年、2015学年度は、720人に増やす予定です。支出の黄色い部分、理事会などの“会合旅費”、管理部門の“事務局人件費”などの管理費は、左側の“利子収入”で賄われています。また、支出に占める管理費は5.2%と非常に低く、公益性の高さを表しています。

このグラフは、地区別の個人平均寄付額です。昨年度の全国平均は15,200円、最も高かったのは、第2590地区(神奈川県横浜市・川崎市)の30,414円でした。当地区は青い矢印が指している所で、一人平均19,380円、全国で第7位でした。ちなみに、宇都宮南RC 17,193円

米山への寄付は、所得税・法人税の税制優遇が受けられます。「税額控除」と「所得控除」、どちらか有利な方を選択することができます。「税額控除」は、寄付額の約40%を、所得税額から直接控除することができますので、「所得控除」よりも控除額が大きくなることが多いようです。例えば、課税所得が750万円の方が10万円寄付した場合、税額控除の場合は3万9,200円も所得税が還付されます。特別寄付金だけでなく、普通寄付金も、申請をすれば領収書が出ます。すべての領収証を合算して、年間2,000円以上の寄付でメリットがあります。

法人の特別寄付についても、法人税が軽減されます。

同じ寄付をするなら、所得税や法人税が軽くなる米山へ、ぜひ、ご支援をお願いいたします。

出席報告 嶋田辰雄 委員長

会員数 47名 前々回 9月17日
出席数 34名 訂正率 83.33%
欠席数 13名
出席率 80.95%

次回例会

10月8日(水) 職業奉仕会員卓話
村上芳弘会員
「我が人生を語る」



プログラム

月 日	時 間	内 容
10月1日(水)	12:30~13:30	米山月間による卓話 地区委員 恩田光憲 様
10月8日(水)	12:30~13:30	職業奉仕 卓話 我が人生を語る 村上芳弘 会員
10月15日(水)	12:30~13:30	ガバナー補佐訪問 RI 第 2550 地区 第 3 グループ B ガバナー補佐 佐貫直通 様
10月22日(水)	12:30~13:30	ロータリー財団 卓話 地区委員 斎藤一郎 様
10月29日(水)	12:30~13:30	ガバナー公式訪問 RI 第 250 地区 ガバナー 長嶋一郎 様